

# 桜町再開発・熊本城ホール整備 7億円の増額に理解は得られません

12月議会に、桜町再開発・熊本城ホールの整備費を7億円増額する補正予算が提案されました。予算決算委員会しめくり質疑で上野みえこ議員が、最終日の討論でなすまどか議員が問題点を指摘しました。

## 再開発会社言いなりの増額は認められない！

ユニバーサルデザインとしてトイレ・水回り等の追加、エレベータープラン変更、サイン追加、賑わい・演出・安全としてエントランスロビー・各ホールの機能追加、安全対策などの内容が、7億1,000万円の増額補正が提案されています。2016年12月の売買契約以降に

障がい者団体や音楽関係者・舞台専門家等との意見交換を実施、その意見を踏まえ機能追加を図ったとの説明です。しかし、いずれの機能拡充も契約前に意見聴取を行い、検討検証しておくべきことです。再開発事業者言いなりの提案での増額は認められません。

## 仕様変更による利用者増の見通しも検証されていない

「設備の追加で催事の幅が広がる」と言いながら、利用件数がどれだけ増えるのか具体的な説明はありません。必要性や費用対効果が全く検証されていない提案は到底認められません。

熊本城ホールの床価格は、民間事業者の床価格の2倍で、熊本城ホール部分はグレードが高いとの説明でした。グレードの高い施設をさらにグレードアップすることに市民の理解は得られません。

### 日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階  
発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか 山部ひろし

NO. 1127  
2019年1月13日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



## 第4回定例会の主な議案等への会派の賛否状況 賛成○ 反対●

	共産	自民	連合	公明	未来	市政	教育	自由	善進	明政	創世	和
2018年度熊本市一般会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
被災者生活再建支援法の改正の意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
改定漁業法の廃止を求める意見書	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○
改定出入国管理法の廃止を求める意見書	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○
慎重な憲法論議を求める意見書	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○

※一般会計補正予算については、市民や議会に事前の説明もないまま、熊本城見学通路整備、熊本城ホール整備に、各7億数千万円が提案されるなど、不要不急のムダ遣いを一層進める予算であったため反対しました。

## ご参加ください！

### 日本共産党演説会

2月23日(土) 午後6時開会  
熊本市市民会館大ホール

弁士：小池あきら 党書記局長  
※市議団から市政報告を行います。

## 弁護士による「無料法律相談」のご案内

毎月定例で無料の法律相談を行っています。どなたでもご利用できます。震災に関わる法律相談も含め、ぜひご利用ください。「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 2月12日(火) 午後5時30分～7時30分  
さくら法律事務所(京町本町1-22) TEL 090-8667-3148
- 2月14日(木) 午後1時～4時  
菜の花法律事務所(南区江越1-17-12) TEL 322-7731
- 1月16日(水)、2月20日(水) 午後2時～4時  
中央区生活相談所(大江5-15-20) TEL 375-2200
- 1月21日(月)、2月20日(水) 午後6時～8時  
北区生活相談所(武蔵ヶ丘1-10-1) TEL 338-2001
- 1月28日(月) 午後1時30分～4時  
山本のぶひろ渡鹿生活相談所(渡鹿5-19-7) TEL 362-5181
- (現在、日程を調整中です。下記お電話まで、お問い合わせください)  
東区生活相談所(広木町7-23-2) TEL 328-2656

# 中央区・上野美恵子のページ



2019年も、地域の声に応えて、要求実現に取り組んでいきます。「住みよい地域にしてほしい」というみなさんの願い、遠慮なくお寄せください。

## 公共施設のトイレの洋式化推進を

### 「ふれあい文化センター」利用者の声に応え、現地調査

「いつも利用している『ふれあい文化センター』のトイレを洋式にしてほしい」という要望が寄せられました。

早速調査に行ってみました。一部が洋式にはなっていますが、かなりの部分が和式で、男性用には洋式がない状況でした。

生活様式の変化や高齢化の進展もあり、今後は洋式トイレを増やすことが必要です。

「ふれあい文化センター」だけでなく、公共施設全体の状況も把握し、トイレのバリアフリー化推進を要望していきます。

大型ハコモノより身近な施設の改善こそ急ぐべきです。



「ふれあい文化センター」は、3階建てで新館・旧館があります。

\*多目的トイレは、新館の各階に1カ所ずつ、旧館は1階に1カ所のみです。

\*一般のトイレは、女性用の新館2階・3階が洋式化されています。旧館は、女性用も洋式は1階に1カ所のみです。男性用には、洋式トイレは全くありませんでした。

\*旧館2階のトイレは、洋式もなく、男女兼用となっています。

## 市役所の出先へ、年末のあいさつ

昨年末12月31日に、共産党市議団が毎年恒例にしている市役所出先機関への年末のあいさつに回りました。

市内5カ所の消防署、東部環境工場、市内3カ所のクリーンセンター、扇田処分場です。

消防や環境に限らず、いくつかの部署では、年末年始も業務が行われています。

年末年始、市役所の出先機関が業務を行うことで、市民への大切なサービスが提供されています。ご苦労様です。



(東消防署)

### 【控室から】人のつながりを大切にす1年に

上野 みえこ



今年のお正月は、娘家族が帰省してきました。やっと歩くようになった1歳の孫を連れての里帰りは、荷物の多さもさることながら、たいへんです。でも、同居する長男家族に、娘の家族も加わり、我が家は、とても賑やかなお正月となりました。8日間の滞在が終わり、帰っていききましたが、とても喜んでくれた91歳の夫の母は、疲労困憊だったようです。でもそれは、うれしい悲鳴かもしれせん。

こんな声が寄せられました。

「両親もいないので、最近では近所の一人暮らしの方をお呼びしてにぎやかに『我が家の正月』をしました。しかし、高齢化で今年は無理になり、手づくりおせちを届けて回りました。」

親しい友達が集まって過ごすお正月はいいですね。でも、一人のお正月を過ごす方も多いのではないのでしょうか。

少子化と高齢化、大家族が集まることも少なくなってきた昨今、季節の行事の過ごし方も変わってきていると思います。これからの時代は、「家族」ということにとらわれず、地域の中で、さまざまに人がつながり、心を寄せ合うことが求められていると思います。今年も、素敵な「縁」が結ばれますように。